

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校楽器備品整備事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	03	01	02	54
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校教育課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	遠藤 由樹				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生徒	意図	不足している音楽楽器を購入し、楽器備品の充実を図ることで、児童の豊かな人間性や感性等を育む教育環境を保持する。
事業内容	生徒の豊かな人間性や感性等を育む教育環境の保持するため、音楽楽器の備品を整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年度、平成29年度の2年間において、音楽楽器の充実を図る。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	中学校楽器備品整備事業 予算執行状況		100	88.88	%	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,148,436	6,984,080
事業費(b)(円)		8,805,186	6,648,480
うち一般財源		8,805,186	6,648,480
職員給与費(c)(円)		343,250	335,600
人役・職員(人)		0.05	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	不足楽器の把握を行い、経費の適正な執行を図る。	③取組の課題	本事業の目標を達成した。
②今年度(H29)に実施した取組	各学校の不足楽器の状況を把握し、バランスを図りながら楽器の整備を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	事業終了により記載なし。